

骨髓バンク 2004年7月 会報25号

会報発行：骨髓バンクを支援するいばらきの会 <http://ibaraki.marrowjp.net/>
発行責任者：牛島英二 編集：小田倉孝夫・山崎揚久
<事務局> 〒311-1415 茨城県鹿島郡旭村造谷605くるみ屋内
TEL：090-8306-7111 / FAX：0291-37-1425 / E-mail: yamazaki@kurumiya.com

祝！骨髓バンクを支援するいばらきの会 設立5周年記念

『がむしゃらに走り続けた5年間・・・』

骨髓バンクを支援するいばらきの会は、設立5周年を迎えることになりました。設立5周年にあたり、牛島会長と山崎事務局長にコメントを寄せていただきました。

設立5周年を振り返って

会長 牛島英二

骨髓バンクを支援するいばらきの会も設立5周年を迎えることができました。これも偏に事務局長としての山崎さんのご尽力・ご努力があったればこそこのことで、心から感謝しています。様々な紆余曲折を経ながらの5年間でしたが、これまでを振り返ってみると、あっという間に過ぎ去った、というのが率直な感想です。この5年間の活動に対する私への最大報酬は、県内での骨髓バンク事業の拡大進展や会の隆盛などいろいろありますが、何と云ってもそれは志を同じくする素晴らしい仲間たちをたくさん得られたことに尽きます。こうした仲間たちとの出会いと活動を共にすることができたことは、正に何物にも替え難い人生の宝物であり、仕事中毒・会社一辺倒人間であった自分の後半生を変えてくれて、骨髓バンクボランティアを人生のライフワークと位置付けることができました。いばらきの会の仲間たちには心から感謝しています。この5年間をただがむしゃらに走りつづけてきましたが、まだまだたったの5周年です。10周年、20周年の日を笑って迎えることができるよう、そして私たち骨髓バンクボランティアが必要でなくなる日がくるまで、「気負わず、あせらず、できることから、楽しく」で行きましょう。これからもよろしく願いいたします

いばらきの会5周年の感想

事務局長 山崎揚久

当会が立ち上がって、「もう5年経ったのだ」と、とても早く感じます。様々な事がありました。これ乗り越えられたのも皆様のご協力があったからこそです。感謝しております。事務局として至らないことが多いと思いますがこれからも、ご指導よろしく願いいたします。

ドナー登録者30万人をめざして！

5月～6月 茨城県内イベント登録会等報告

5月6日イトーヨーカ堂古河店献血並行登録会

今日の登録会は、瀧さん、細谷さん、伊井さん、鈴木(午後のみ)が参加です。

骨髄バンクドナー登録者 8名

献血者 79名(内採血者 59名)

参加された方、寒い中お疲れ様でした。(鈴木秀文)

5月9日つくばフェスティバル献血並行登録会

つくばフェスティバルでの登録会の結果をご報告いたします。

骨髄バンクドナー登録者 : 13名(午前 8名、午後 5名)

献血者 : 84名(申込 99名)

参加者 牛島さん、川井さん、和田かず美さん、湯本倫子(みちこ)さん、佐藤恵子さん、細谷さんご夫妻、福間明子さん(ご主人は推進員としてルーム勤務)、伊井の9名。保健所から、飯島課長、岩淵さん、高力さんの3名でした。

受付は10時開始ではありませんでしたが、時間前にまず一人目の申込があり、まだ会場準備中でバタバタの中、説明に入りました。間髪入れずに2人目、3人目と続き、この調子だと新記録かも、と内心ほくそ笑んでおりました。ところが、しばらくして雨が…。お昼頃には雨脚も強くなり、人通りもパッと止んでしまいました。終了時まで無情の雨は降り続き、終わってみれば13人という結果でした。(この度は、福間究さんのご尽力によるところが大きい)用意したチラシもかなり残ってしまい、とても残念な結果でしたが、今回は新たなメンバーの参加もあり、今後にご期待です。途中、つくば保健所の所長さんが顔を出されました。受付場所、登録説明会場などをご案内し、登録会の現場を視察いただきました。

参加された皆様、雨の中、大変お疲れ様でした。(伊井義人)

6月1日 建設業協会献血並行登録会報告(県内新記録達成!! 過去最高39名)

骨髄バンクドナー登録者 41名(受付 47名)

献血実施数 81名

参加者は薬務課杉山さん

水戸保健所 相楽さん 悉知さん

骨髄バンク推進員 石塚さん(センター)

いばらきの会 細谷(栄)(み)さん、瀧さん、佐藤(恵)さん、和田さん、山崎(揚)(晃)

今日は細谷夫妻効果と天気(雨で仕事が出来ない)にも恵まれ午前の問診採血では行列が出来るほど込み合いました。皆様のご協力により骨髄バンクドナー登録数は県内登録最高数を記録しました!

ありがとうございました。建設業協会の力は凄い! 感謝感謝です!!

今回は担当させていただいて本当に良かったと実感できた一日でした。(山崎揚久)

6月2日 旭村役場献血並行登録会報告

骨髄バンクドナー登録者 6名(受付 8名)

献血 49名

参加者 鉾田保健所 大曾根さん

いばらきの会 瀧さん、川井さん、和田さん、山崎(晃)

骨髄バンク推進員 山口さん(水戸ルーム)

参加された皆様、連日の登録会へのご参加ありがとうございました。(山崎揚久)

ドナー登録者30万人をめざして!

6月13日 いばらきの会 総会報告

平成16年度いばらきの会定期総会が13日に予定通り開催され、過去最高の21名の出席者を得て盛会の内に終了いたしました。当日の結果報告です。

1. 総会

- (1)平成15年度活動、会計、同監査報告 承認
- (2)平成16年度活動方針案、予算案、会則改正案、役員改選案 承認
2. 会長報告< 設立5周年を迎えて、これまでの歩みと今後の課題 >
3. さい帯血バンクPRビデオ上映
4. 茨城学生団体支援組織ぐっぴい活動紹介
5. 出席者自己紹介、情報交換
6. 登録会グッズ交換、支給
7. 10月筑波大学学園祭登録会打合せ、意見交換

当日の出席者は以下の方々です。ご出席の皆さんにはご多忙の折、長時間ご参加いただきまして、誠にありがとうございました。

今年一年、「気負わず、あせらず、できることから、楽しく」をモットーに活動して参りますので、会員の皆様にはよろしくご支援、ご協力いただけますようお願いいたします。

総会出席者 山崎夫妻、井手、伊井、細谷夫妻、川井、瀧、貫井夫妻、稲葉、横田、佐藤(恵)小田倉、福岡夫妻、和田、湯本、矢口、雨宮、山崎クリ、牛島(敬称略) (牛島英二)



会長報告



誰か遊んでよ



ぐっぴい団体紹介



井手顧問就任挨拶



総会風景



井手顧問の就任の挨拶文を掲載する予定でございましたが、編集締め切りの都合上、次号に掲載させていただきます(編集担当)

ドナー登録者30万人をめざして！

平成16年度の総会において下記の通り新役員が改選されました。

平成16年度役員

顧問	井手 義 弘	(新設 新任)
会長	牛 島 英 二	(再任)
副会長	貫 井 徹	(再任)
事務局長	山 崎 揚 久	(再任)
取手支部長	貫 井 徹	(再任)
県西支部長	細 谷 栄 一	(新任)
日立支部長	瀧 公 恵	(新任)
つくば支部長	伊 井 義 人	(再任)
会報編集担当	小 田 倉 孝 夫	(新任)
HP編集担当	伊 井 義 人	(新任)
会計	山 崎 晃 子	(再任)
会計監査	川 井 正 一	(新任)

新会員 紹介コーナー

いばらきの会の皆様、こんにちは。五月より入会させて頂きました湯本倫子と申します。

私は長野出身なのですが、五年前にAMLを発病しまして、地元の病院で骨髄移植をしてから一年と八ヶ月がたつところです。この四月から茨大に復学しました。今、山のようなレポートに追われながら、また学生に戻れた喜びを痛感しています。これから可能な限り登録会などでお手伝いさせて頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

骨髄バンク推進員の運用が始められました。

茨城県では、平成16年度より骨髄バンク登録推進員制度が運用されることになりました。当会会員でもあります、つくばの福間さんが、骨髄バンク登録推進員として活躍されております。そこで福間さんの活動の様子を聞かせていただこうと思っております。

推進員の正式な名前は「骨髄バンク登録推進員」ですが、長いので「推進員」と言っています。水戸・つくば・日立の各献血ルームに2人、水戸の血液センターに1人。計7人の推進員がいます。私以外は女性の方で、皆さん、骨髄バンクについては素人ですので、研修会があります。採用期間は6ヶ月間で、現在の人は4月から9月末までで、10月からは新しい人に代わります。せっかく仕事になった人がなぜ交代するのかと不思議ですが、雇用促進の意味があり、出来るだけ多くの人に働いてもらいたいからです。1ヶ月の出勤日数は15日以下で、出勤日は自分で決められますが、2人いるので調整が有るかもしれません。ルームの勤務時間は9:30~18:10です。仕事は骨髄バンク登録推進と献血推進です。血液センターの人がどんな仕事をされているかは判りませんが、献血ルームでのバンク関係の仕事は、献血に来られた人への「チャンス」配布、ルームでのドナー登録、献血並行型登録会に出張し登録受付業務、電話でのバンク関係の質問に対する回答。しかしこれだけではそれほど時間がかかりませんので、日常のメイン業務は献血受付になります。私は献血受付ではなく、ルーム外で献血勧誘をやりたいと要望しました。こんなことをやっているのは私だけだと思います。ルームでの私の一日は 9:30~ルーム前にのぼり看板をたてる(女性の方は簡単な掃除やお菓子の準備)雑用。10:30~献血者にチャンス配ったり「献血」のプラカードを持ってルームの外で献血勧誘(女性の方は献血受付) 12:20~雑用 13:14~14:00昼休み 14:00~チャンス配布・献血勧誘 17:20~雑用、のぼり看板のかたづけ。推進員になれて良かったことはルームで献血の方にチャンス配布できること、ルームの職員・看護師・パート(一般・学生)の方と知り合いになれたことです。(福間 究)

ドナー登録者30万人をめざして！

5月～6月 茨城県内イベント登録会等報告

6月23日 日本メクトロン献血並行登録会

骨髄バンクドナー登録者 17名

献血者 80名 (受付 103名)

本日の参加は、川井さん、和田かず美ちゃん、伊井、推進員の福間さん、保健所から岩淵さんでした。開始から30分、バンクの方は閑古鳥・・・今日はもしかしてタコかも・・・なんて悲観的な気持ちも一時湧きました。献血にこられた方の待ち時間に合わせバンクの勧誘をしました。今回の登録会は、骨髄バンクのビデオを流すこと自体もNOで、すべて口頭で説明。時間的にビデオを見る時間はないとのことで、事前にチャンスを配ってあるから必要なし、ということで担当の方から言われており、実際に説明時間はかなり短縮できました。最後は献血受付時間ぎりぎり、バンクは片付け真っ最中というところに二人の女性が駆け込みでみえて、最終17名という結果でした。(会場が食堂なので、お昼にテーブルを元に戻し、また午後用にセットし直すという、いままでにないパターンも経験しました)担当の方も、理解があり、2月・6月が毎年献血をやっているの、今度もきてくれてもいいですよ。とおっしゃって下さいました。何度もくれば、社員にも理解が深まるからとのことでした。皆さん大変お疲れ様でした。(伊井義人)

6月24日 波崎町役場献血並行登録会

骨髄バンクドナー登録数 9名

献血数 63名

この会場は前回昨年3月には、当時として県内過去最高の38名もの方々に登録していただいた思い出深いところで、今回も期待していたのですが残念ながら結果は低調なものでした。

前回は献血数が84名(今回63名)と多かったことに加えて、町役場の若手男性職員で構成された野球部のほぼ全員20名の大口があった他、JCの呼掛けによる会員の大口もあり新記録に結びついたものですが、今回はこうした職員の登録がわずかで一般の方も少なく平均的な登録率の20%にも届きませんでした。保健所担当の高城さんとは、来年度はこうしたことを踏まえて管内では神栖保健センター、ホームジョイ本田など過去の実績が比較的に高い場所のほか、鹿嶋方面の国道沿いにある大型ショッピングセンターや、海沿いの工業地帯の大手企業(住金など)をターゲットにしようと話し合いました。

二日連続で登録推進員として福間さんが参加されました。大変お疲れ様でした。いばらきの会の他のメンバーの参加がなかったため、昨日は財団の私、保健所担当者一名、登録推進員一名という最小単位の人員での初めてのケースでした。開始前には、もしピークが来たら3名で説明員をやればなんとかなると話していましたが、結局福間さん一人で充分でした。これは登録推進員制度の大きな効果であり、私が以前から県に要望してきたものです。もちろん、推進員が経験豊富な福間さんだからできたことで、これが他の推進員の場合はもう一人コーチ役の説明員が必要で、推進員が説明員業務に慣れるまでは最低四名は必要でしょう。昨日の登録者9名の中で特筆すべきは、昨年7月に神栖保健センターでの登録会の折に、昼の休憩時間に登録に訪れ、申込書記載までしていながら問診採血が受けられず(仕事のため午後の再開まで待てず)やむなく断念して帰った二人の男性(一人は南米系の外国人)が再度登録に訪れてくれたことです。お互いに顔を覚えていて、「あーあの時の・・・」ということで、もちろん即申込書記載をしてもらいました。ただ午後だったので問診採血待ちの行列で長時間待ってもらうことになり、恐縮至極でありました。感謝、感謝です。(牛島英二)

コーヒーブレイク

会報の編集集中に選挙演説カーが通りました。選挙と言えば、ダルマですが、ダルマに目を入れるという風習を始めたのは明治時代の養蚕農家とされています。「目を開眼で願いがかなった」目を黒く塗ることで、だるまさんが代わりに苦労してくれた」という意味があるそうです。通常、あらかじめ目を入れておくのはだるまの左(向かって右)ですが、選挙では右(向かって左)に入れるそうです。ちなみに国内で初めてだるまを使ったのは1930年の衆議院選に長野市の立候補者が始めてだそうです。そんなダルマさんも今のこの世の中を、どう見ているのでしょうかねえ～？

ドナー登録者30万人をめざして！

全国骨髓バンクボランティアの集いin函館 開催される!

去る5月29日から30日にかけて全国骨髓バンクボランティアの集いin函館 が開催されました。当会から
瀧さんと川井さんが参加されました。瀧さんに当日の様子を報告していただきました。

『落穂拾いの精神を忘れずに・・・』

川井さんは初参加、瀧は3度目の参加です。式典では、代理での参加が多く、あちらこちらで「また代理の参加か・・・」と囁かれておりましたが各代理のご挨拶も前向きなご意見を伺うことができました。

そして全国各地からこれだけのボランティアの参加を目にして驚いたとおっしゃった方もおりましたので、きっと今後のお仕事に良い影響を与えたことと思います。私も落穂拾いの精神を忘れずに当会のモットーで邁進していこうと思います。交流会の後は函館元町辺りを案内していただき2時間半、ロマンチックな函館の夜を散歩してきました。ホテルに帰ってからは、函館病院の政氏先生の講演会では話さきれなかった熱い思いや、大谷貴子さんのプロジェクトX出演の裏話など普段中々聞くことのできない話を聞くことができました。来年は三重県で開催予定です。当会活動に際しての参考となることも沢山ありますよ皆さん、是非、お勤めします!! (滝公恵)

・茨城県青少年赤十字高校生連絡協議会交流会」参加報告

『高校生達の輪』がつながって・・・

7月4日水戸の日赤茨城県支部において、「茨城県青少年赤十字高校生連絡協議会交流会」が行われました。今年で3回目だそうです。

今回は、総勢10校50数名の参加でした。開会の後、アイスブレイク(氷を壊す)とかいうゲームっぽいやつで血液型で輪になったり 誕生月で輪になったり・・・最後はジャンケンで負けた人が勝った人の後ろについて、次から次にジャンケン。だんだん列が長くなり 結局は1本の列になるっていうのをやって。ん～、違う学校の生徒ともこうすれば確かに友達になれるな～って感心しました。(昔、青年の家に泊まった頃を思い出しました)

その後、野外にて炊き出しの訓練。炎天下の中、頑張っていました。私は、次が出番なので、会場で準備。パソコンやらビデオやら・・・予定では50分の持ち時間でしたが、30分ビデオ「いのちのボランティア」で15分説明のつもりが、ついつい、25分説明、10分質疑応答となってしまいました。でも、みんな、真剣に聞いてくれました。

自分で言うのもなんですが、やはり 体験談も含めたバンクの説明というのは、聞く方にとってはより現実的に聞けるのかも知れませんね。ただ、高校生のみんなにわかりやすく説明したつもりではありませんが、どれだけ伝わったかは自信ありません。後ほど、担当(日赤)の方(河端さん・結構イケメン)からアンケートが送られるとのこと。ちょっとドキドキです。昨年まではこの交流会も60名募集して20数名という状況だとか。今年は倍増の50数名。これも骨髓バンクの説明があるっていうのでたくさん集まったのかも知れない。と河端さんはおっしゃってました。であれば嬉しいですね。参考までに参加校は、牛久栄進・古河第二・佐和・水戸第三・水戸桜ノ牧・結城第一・常総学院・常磐大学高・茗溪学園・笠間(先生だけ参加したのが、磯原高校) 息子を知っててちょっとビックリでした。来年も話ができれば、参加したいと思ってます。

今度は大勢で参加したいですね。(伊井義人)

ドナー登録者30万人をめざして!

7月～9月 茨城県内トナー登録会のお知らせ

***** いばらき夏の陣 *****

昨年も大きな成果をあげた夏が再びやって参りました！昨年以上の成果を挙げるために皆さんでがんばりましょう！

7月～9月の登録会予定

- 7・27核燃料サイクル開発機構 (時間 午前9:30～午前11:30午後13:00～午後15:00)
7・29大子町役場 (時間 午前9:30～午前11:30午後13:00～午後15:00)
8・2陸上自衛隊土浦駐屯地 (時間 午前9:30～午後15:00)

下記登録会予定は詳細が未定なため、詳しくは事務局までお問い合わせください。

8・19山之内製薬 (担当地区普及広報委員 伊井)

8・23牛久市保健センター (時間 午前9:30～午後15:00)

8・29つくば献血ルーム (祭りつくば) (担当地区普及広報委員 伊井)

9・9サンユーストアー磯原中央店 (担当地区普及広報委員 牛島)

9・14ジョイフル本田荒川沖店 (担当地区普及広報委員 小田倉)

9・15八千代町中央公民館 (担当地区普及広報委員 細谷)

登録会の日時及び時間等に関しては変更になる場合がありますので、事前に事務局までお問い合わせください。

県内イベントのお知らせ

7月18日 骨髄バンクチャリティジョイントコンサート(PM1:00～PM3:00)

出演者 Kaweni O Na Pua (栃木のフラダンス教室)・マインド40(地元明野町のロックバンド)

場所 明野町町立中央公民館(明野町海老ヶ島2120-7 電話 0296-52-5333)

入場料:¥1,000-(ボランティアでの参加の場合無料です)

皆様お誘いあわせの上ご来場下さい。また、当日お手伝い頂ける方も募集しております。

7月24日 ペンシルバルーン募金 つつみ幼稚園夏祭り会場(PM4:30～)

場所 藤代町双葉3-7-1

昨年も御世話になりましたつつみ幼稚園様のご好意で今年もペンシルバルーン募金を行います
皆さんも可愛いチビッコ達と踊り、楽しみながら参加してみませんか？

8月7日 ペンシルバルーン募金 石岡サマーフェスティバル会場

時間:PM14:00～PM20:00

場所:石岡駅前通り

各イベントに関しましては、事情により変更されることもありますので、事前に事務局までお問い合わせ下さい。

いずれの会場も開始時間30分前にお集まりください。

トナー登録者30万人をめざして！

骨髄バンクのボランティアを応援してください

骨髄バンクを支援するいばらきの会では、茨城県内で骨髄バンクの普及啓発をボランティアで行っています。

活動資金は皆さまの善意の寄付によってまかなわれています。ボランティア活動への応援をお待ちしております。なお、ご面倒でもご寄付と会費の納入は郵便振替でお願いします。

郵便振替口座名義 00110-3-127575
加入者名義 骨髄バンクを支援するいばらきの会

事務局より

事務局から御協力のお願い

今回の会報にも登録会やイベントなどが数多く予定されております。参加したいけれど初めて参加するのは気が引けると思っている方もいると思います。当会の年齢層は10代から60代まで幅広く皆さん気さくな方ばかりで色々教えてください。まず、自分が参加してみたいイベントなど会事務局に問い合わせてみてはいかがでしょうか。当日の参加内容についてご説明し、その中で自分が出来ることをすれば良いでしょう。皆様のご参加おまちしております。

16年度年会費納入のお願い

皆様からの会費は大切な運動資金です。有効に活用致します。また善意のご寄付もよろしく願い申し上げます。 年会費 一口 2,000円 何口でも

心のこもったご寄付をありがとうございました。(2004.5.1~6.30)

星野明さん 8,000円/細谷栄一、みさ紀さん 41,000円/大屋隆子さん 8,000円/松園茂樹さん 10,000円
萩原千春さん 3,000円/日立青年会議所 13,812円/水木学区社会福祉協議会 5,000円/瀧公恵さん 3,000円
牛島英二さん 100,000円/伊井義人さん 8,000円/川井正一さん 2,000円/山崎揚久さん 3,000円
お寄せいただいたご寄付のうち、会費未納の会員からは会費(年2,000円)を差し引いて掲載させていただきました。

日本骨髄バンク骨髄提供希望者(ドナー)登録者数:189,276人(県内3,445人)
骨髄移植希望者(患者数):2,518人(県内43人)
バンクを通じての移植例数:5,611例(県内移植数103例、県内採取数89例)
(2004年5月末現在)

編集後記 今号から会報の編集担当になりました小田倉です。限られた時間での会報編集で中々うまくまとめきれたかどうか分かりませんが、いかがだったでしょうか?また、皆さんから寄せていただいた原稿も、紙面の関係で割愛させていただいた部分がありますこととお詫びすると共に、次号からも皆様からの投稿をお待ちしております。(小田倉孝夫)



特定非営利活動法人全国骨髄バンク推進連絡協議会

骨髄バンクのお問い合わせは 0120-892-106、office@marrow.or.jp、http://www.marrow.or.jp まで

患者電話相談 白血病フリーダイヤル 0120-81-5929

毎週土曜日 10:00~16:00 * 毎月第2・第4土曜日は血液専門医もご相談をうかがいます

(財)骨髄移植推進財団 ホームページ http://www.jmdp.or.jp

ドナー登録についてのご質問 お問い合わせは

財団フリーダイヤル 0120-445-445 または ドナーズネット http://donorsnet.net まで

ドナー登録者30万人をめざして!